

～生きていま 私が語る～ グローバルに環境問題に取り組んで

地球規模で環境問題に取り組んできた方々のお話をお伺いできるのが、今回の講座の楽しみです。人間が人間らしく生きることのミニマムを保障され、その上に創造性を開発できるような環境を保全することを心がけたいのですが、それは絶えざる努力あってこそ。今回は、研究者として、啓発活動家として、実践者としての実績のある3人の方のご報告です。

富士谷あつ子（評論家、特定非営利活動法人京都生涯教育研究所 所長・副理事長）

東南アジアの環境破壊と食卓のゆくえ

かだ りょうへい

嘉田良平（総合地球環境学研究所 教授）



東南アジアの多くの国では、経済発展にともない生態系が劣化し、食料の供給、食品の安全性、さらには人々の健康が脅かされています。環境問題と食料問題は密接につながっています。私たちは両者の関係に注目し、「食のリスク」について、フィリピンやインドネシアで現地の人々の目線にたち問題解決の道筋を調査してきました。異常気象、都市化・工業化の進展、土地改変などの環境変化によって、人々の食生活や健康にどのような影響がみられ、どうすれば食の安全・安心をより確かなものにできるのでしょうか。皆さんと一緒に考えたいと思います。

地域から日本を変える～京都発 NGO20年の活動～

すぎもと いくお

枚本育生（環境市民 代表理事）



持続可能な社会の将来像に向かって戦略的な活動ができる環境 NGO 活動を組み立ててきました。その中心活動の一つが「持続可能な社会を創る～日本の環境首都コンテスト」です。この活動を思い立った契機、活動を可能とした基盤づくり、目的と達成したもの、自治体や他の NGO との信頼の醸成、そして 10 年の環境首都コンテストを終えて、それを基盤にいま組み立てている、地域から日本を変える活動についてお話します。またこの活動を継続的に実施するため、どのような工夫をしてきたのか、何を大切にしてきたのかについてお話しします。

沙漠緑化を実践して20年

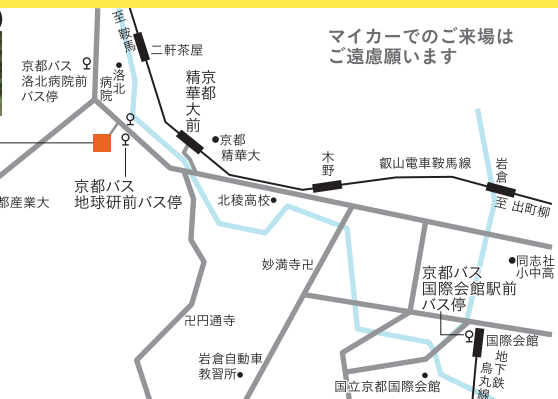
さわい としお

澤井敏郎（NGO緑の協力隊・関西澤井隊 代表）



木材加工産業に約 40 年間携わったのち、1993 年に沙漠緑化の故遠山正瑛翁を知りました。その先駆的活動に共鳴して中国内モンゴル遠山沙漠植林隊に 5 回参加し、1999 年に N.GSK 実践隊を創立。沙漠植林はモンゴル国を含めて 6ヶ所で 11 回。マレーシア・北ボルネオの熱帯林保全・再生のための植林を 10 年間。ブラジル・アマゾン下流域等での植林を 4ヶ所で 8 回。のべ 5 百数十人と 1 万数千本の地元苗木を 4 カ国 10ヶ所で植林してきました。この「世界の子供たちに“木を植え育てる心”をはぐくむ」実践活動を永遠のロマンとしてお話しします。

総合地球環境学研究所(地球研)



マイカーでのご来場は
ご遠慮願います

総合地球環境学研究所へのアクセス

国際会館方面より

京都バス 40 系統または 50 系統または 52 系統に乗車し、「地球研前」バス停下車すぐ。

京阪沿線より

「出町柳」で叡山電車鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」下車徒歩 10 分。

上賀茂方面より

京都バス 32 系統、34 系統、35 系統に乗車し、「洛北病院前」バス停下車徒歩 10 分。
もしくは、上記に乗車し「京都産業大学前」バス停下車、京都バス 40 系統「国際会館駅行き」に乗り換え、「地球研前」バス停下車すぐ。

連絡先：NPO法人京都生涯教育研究所 〒606-8243 京都市左京区田中東高原町28-1 E-mail: lifelong@wg7.so-net.ne.jp
電話：075-781-9699 FAX：075-791-2219 URL：http://kyotolifelong.web.fc2.com/lifelong-f.htm

参加申込書

FAX送付先 075-791-2219

締切 2013年7月15日(月)

参加ご希望の方は、下記フォームにご記入の上、FAXにてお申込みください。先着順、定員 120 名です。

氏名		E-mail	
住所	〒		
電話番号		FAX番号	